

津沢中学校横

このポイントは、東京書籍の「新編 新しい理科」教師用指導書「北陸・信越版」地方版資料に、小矢部川中流の様子を観察できる場所として紹介されています。場所は、合口橋と鴨島橋にはさまれたあたりの小矢部川左岸で、対岸の右岸には津沢中学校が隣接しています。このあたりの小矢部川は、大きく蛇行した河道に合わせて堤防が作られており、右岸側が常にカーブの外側になるのに対して、左岸側は常にカーブの内側にあたるため、川原が安定しています。写真のように、駐車場から川原へ降りるときは階段状で降りやすくなっています。川の流れる速さが右岸側と左岸側で明らかにちがい、とてもわかりやすい場所ですので、実際に雑草の葉などを流して流速のちがいをたしかめてみましょう。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	1～2クラスが望ましい
流速の実験の安全性	比較的安全にできる
バス駐車スペース	あり
トイレ	ない。必要であれば、近くの中学校や高等学校へ事前にお問い合わせ。



川の右岸と左岸のようすのちがいがよくわかる



川原の状態

